

救護施設だより

名立園

題字は利用者の手塚優子さんが書きました

第50号

平成24年8月10日

(発行)

・社会福祉法人 久比岐福祉会
救護施設 名立園
名立園家族会

・〒949-1604

新潟県上越市名立区赤野俣 926 番地 2

TEL 025-537-2021 FAX 025-537-2022

U R L : <http://www.ans.co.jp/n/nadachien>

E-mail : nadachi-en@cb.wakwak.com



日帰り旅行
でっかい鯉だ！

7月11日、長岡市の蓬平温泉へ日帰りの旅行に出かけました。途中、小千谷市で錦鯉を鑑賞し、色鮮やかな鯉に大きな歓声をあげました。梅雨の中休みの良く晴れた蒸し暑い日でしたが、池の中で泳いでいる鯉達をながめてひと時の爽やかな空気を感じることができました。

きれいな錦鯉を鑑賞した後は、お楽しみの昼食会です。蓬平温泉でたくさんのご馳走をいただき、温泉を楽しんだ方もいました。

家族会会長となつて思う事



家族会会長
村松 翁さん

家族会の会長になりました村松です。弟が入園させていただき四年程になりましたが、私もまだまだ園のことを把握できていませんし皆様に迷惑をかけないようにと思っております。

生活を送っていましたが入園させていただいたことで落ち着いた様子になりました。家族も精神的に安堵感を得ることが出来ました。こうした施設が無かったら弟は生きて行けなかったかもしれません。

障害のある人はやはり社会では弱い立場です。入園生が正しく指導や管理をされている様子を見ると園職員の皆様には頭の下る思いです。

近年少子高齢化が進み多

くの問題点も出て来ています。世の景気も良くなつて行くことも望めない中でさらに地震等をはじめとする大規模災害が多く発生して人々の生活に影響を与えストレスとなっています。

この様な時で園の運営も大変なことと思いますが、園生のことを第一に考えいろいろ計画実行していただいている事は感謝にたえません。物事を持続して行くこと自体が大変な時代です。

園長はじめ職員の皆様も健康に十分気を付け頑張り過ぎない様にしてください。

桜が満開に

今年はこちらで桜が見事に咲いておりました。名立園の桜もたくさんの花をつけ、毎日私たちを和ませてくれていました。

散つた花びらは、庭一杯にピンク色のじゅうたんを敷き詰めたようになり、ふわふわとした花びらの上を優雅な気持ちで散歩することができました。

また今年の満開は例年よりも遅く、下の写真も四月二十四日に撮影されたものです。そのためお花見をし



ていても寒さを感じることはなく、三年ぶりに行われた自治会主催の「お花見おやつ会」も、温かい日差しの下で行なうことが出来ました。

生活スナップ

開園記念祭

名立園が開園して三十二年が経ちました。毎年開園記念祭を行っており、今年も様々なイベントを行って、利用者・職員共々楽しむことが出来ました。



鏡開きで記念祭の開催を祝いました

昨年の行事で紙相撲大会を行ったところ利用者からの評判が良かったので、今



さあ 軍配はどっちに上がる!?

年は更に楽しめるように力士と土俵をバージョンアップして取組みを行いました。

宝引きは昔懐かしく、馴染みのある遊びでした。皆さん誰が当たりを引くのかと、ドキドキしながらくじを引いていました。的当ては、お目当ての品物目掛けてボールを投げるゲームです。

お昼は記念祭特別メニューを用意し、豪華な昼食となりました。午後からはビデオの鑑賞会を行い、コメディ一番組のDVDを大画面で鑑賞し、大きな笑い声



真剣な眼差しでボールを投げる

が外にまで響いていました。記念祭が行われた四月二十五日は、盛りだくさんの一日でした。

楽しかった！日帰り旅行

四月は「高田花見・黒姫高原」の旅。桜はまだ三分咲きという感じでしたが、爽やかな風と屋台でお花見気分を堪能し、広々とした黒姫高原をドライブしました。六月は「アサヒ飲料・宇奈月温泉」です。大好きな缶コーヒーが出来るまでを実際にしながら、きれいなお姉さんが分かりやすく説明してくれました。

七月は「錦鯉の里・蓬平温泉」。大きな錦鯉が、元氣よく泳ぐ姿にびっくりです。

日帰り旅行は、それぞれ十五名くらいの少人数で、観光バスを利用して出かけています。参加者の体調に合わせて、のんびりとゆったりとした旅行になるように計画しています。いずれもホテルのご厚意により、メニューにも心配りが感じられた美味しい食事でした。

介護体験レポート

六月二十五日から二十九日までの五日間、小学校及び中学校の教諭の普通免許授与に係る介護等体験の体験学生を受け入れました。

名立園では毎年二三名の学生が同様の介護体験をしています。今回は、上越教育大学の涌井恵梨子さんが介護体験を行いました。その感想が届いておりますのでここでご紹介したいと思います。



アドバイスを受けながら食事介助をする涌井さん

名立園での一週間の介護等体験活動は、介護の知識や経験のない私にとって、とても貴重な時間となりました。初めに、どのような施設

でどのような人が利用しているのか説明を受けた時は、私にできることがあるだろうかととても不安になりましたが、利用者の方と触れ合ってみると、皆とても親切で笑顔がまぶしく、こちらが元気になるくらいでした。何よりも嬉しかったのは、毎日たくさん「ありがとう」をもらうことができたことです。とても励まされました。

利用者の方々とウォーキングをしたり、一緒に洗濯物を畳んだり、入浴後に髪の毛を乾かしてあげたり、

様々な活動を通して心を通わせる喜びを知りました。これは普段、黒板に向かっているだけでは学ぶことはできないとても貴重な経験です。そして考えた通りに物事が進まない難しさも経験することができました。この様な体験ができたことを心から感謝すると共に、今後に生かしていきたいと思えます。本当にありがとうございました。

上越教育大学
学習臨床研究コース
涌井恵梨子

毎月の誕生者を中心に、施設のマイクロバスを利用してドライブに出かける行事が毎月一回（冬期間を除く）行われています。区内を回ったり、海岸線を走ったり、皆さんの要望で色々な場所に出かけています。昨年から取り組んでおり、利用者も楽しみに出かけている様子が伺えます。

日頃から作業・訓練と頑張っていますが、名立園から出て自然を感じ、気分転換にも繋がっています。またドライブの際に他利用者との会話も楽しんでおり、笑顔も多く見られます。

日本三大夜桜の名所 高田公園でお花見



昼食が終わると、足を伸ばして横になれるスペースで、美味しいお茶にお菓子も頂きました。また、お土産の買い物もそうですが、車中や宴会でのカラオケも楽しみの一つです。歌声に酔いしれ、皆で盛り上がり良い思い出になりました。びっくりするくらい、皆さんお上手なんですよ。

バスドライブ



出来上がるところを見たら、やっぱり飲みたくなるよね

福祉運動会

爽やかな風が吹く五月十七日、同区内の老人クラブ「山海クラブ」の皆さんと合同で運動会を行いました。日頃の運動不足解消と、多くの皆さんと触れ合えるとあって利用者が楽しみみしている行事の一つです。

応援団長の太鼓の音が響く中、紅白のチームに分かれて競技のスタートです。競技内容も趣向を凝らしてたくさんの方々に参加していただけるようにしました。大接戦で、選手も応援団も思わず手に汗握る白熱した数々の競技。体育館いっぱい歓声と熱気にあ



ゴンドラの品物を運ぶロープウェーレース

グリーンカーテンで節電

地球温暖化に伴い、年々夏の暑さが厳しくなっているように感じます。少しでも涼しく過ごせるように、また節電対策の一環として名立園でもグリーンカーテンを昨年からはじめました。強い日差しを浴びて元気な朝顔が毎日大きな花を咲



昨年のアサガオから種を取って今年植えました

ふれた運動会となりました。山海クラブの皆さんのたくさんの笑顔に触れ、利用者もいつも以上のパワーを発揮したのではないでしょう。か。来年も元気で会おうね」と約束をして、運動会が終了しました。

地域奉仕活動

名立園が地域の仲間入りをして三十二年が過ぎました。利用者も積極的に地域に出掛け、さまざまな活動を行うことにより、地域住民との交流を図り、併せて社会性をも養っていききたいと考えています。



季節が変わるごとに花も植えかえませ

かせ、また目にも鮮やかなグリーンのお大きな葉が、日差しを遮ってくれました。今年も南棟、食堂を中心に朝顔を植えました。順調に育ち、涼しさを届けてくれると思います。



鎌を巧みに使って草を刈る

地域奉仕活動もその一つで、その一部の活動として四月から十月にかけて名立園が立地されている赤野俣地区内市有地に花壇を作り、

七夕飾り

名立園では恒例となった七夕飾りを、今年も六月二十七日に実施しました。利用者、職員共々、子供の頃の気持ちに戻って折り紙や短冊を天の川に見立てた網に飾り付けました。毎年近隣保育園の園児さんたちからたくさんのお飾りをいただいております、それらも一緒に飾らせていただきました。飾り付けた短冊等は、外からの風に揺られ、訪れた方々の目を引いていました。



どんな願いを託したのかな

今年の七夕の日はおり姫様とひこ星様はあいにくの雲隠れ。でも皆さんの願いはきっと天に届いたことと信じております。

自作の花の苗を植えて管理を行うことや、用水（農業用兼名立園防火用のため池への注水用）上げと草薙ぎに取り組んでいます。このような活動を通じて自分たちも地域住民であるという意識向上に繋がりが、地域社会の一員であるという自覚が年々深くなっています。これからも地域の皆様に支えられながら取り組んでいきたいと思えます。

苦情解決事業

苦情解決の方法

一、苦情の受付

苦情は面接、電話、書面などにより苦情受付担当者がいっつでも受け付けます。

また、第三者委員に直接苦情を申し出ることでもできます。

二、苦情受付の報告・確認

苦情受付担当者が受け付けた苦情を苦情解決責任者と第三者委員（苦情申出人が第三者委員への報告を望まない場合は除く）に報告いたします。第三者委員は内容を確認し、苦情申出人に対して、報告を受けた旨を通知します。

三、苦情解決のための話し合い

苦情解決責任者は苦情申出人と誠意をもって話し合い、解決に努めます。

その際、苦情申出人は第三者委員の助言や立会いを求めることができます。

なお、第三者委員の立会いによる話し合いは次により行います。

第三者委員による苦情内容の確認
第三者委員による解決案の調整、助言
話し合いの結果や改善事項等の確認

四、都道府県「運営適正化委員会」の紹介（介護保険事業者は国保連、市町村も紹介）

本事業者で解決できない苦情は、新潟県社会福祉協議会に設置された新潟県福祉サービス運営適正化委員会に申し立てる事もできます。

苦情は、新潟県社会福祉協議会に設置された新潟県福祉サービス運営適正化委員会に申し立てる事もできます。

平成二十三年年度苦情受付

- ・ 件数 一件
- ・ 申出人 利用者家族
- ・ 内容 当該利用者が車椅子から前のめりに落ち、右臀部の痛みを訴え湿布で様子みて状態を観察し、打撲等の跡もなく、平常生活に戻りつつあったところ、その後、家族より受診をしていない事とこの件に関し連絡がなかった事に対し苦情がある。
- ・ 対応 受診し、異常なく、日常の介助について職員間で協議した内容と一連の経過と今後の対応について書面にまとめ報告しました。
- ・ 結果 了解を得て納得して頂きました。

救護施設サービス評価 —平成二十三年年度報告—

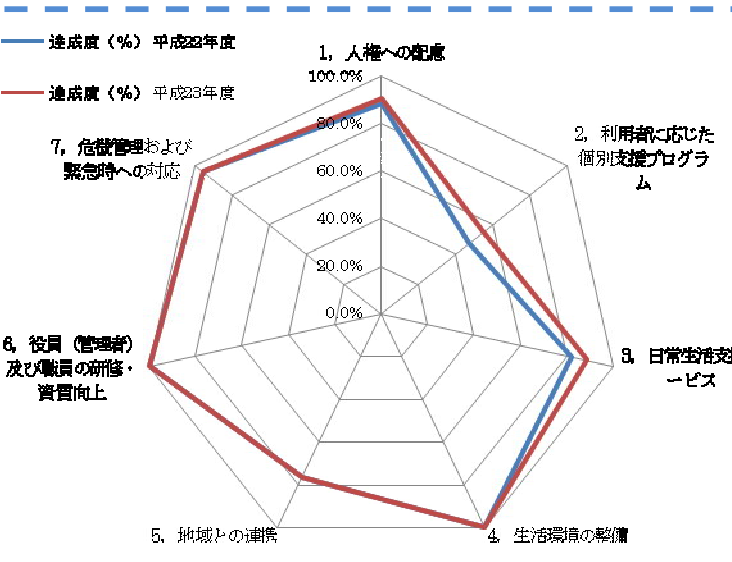
平成十三年から実施している救護施設サービス評価も、今回、ちょうど十回目となりました。

昨年度と比較し、「利用者に応じた個別支援プログラム」、「日常生活支援サービス」の達成度が上がりました。「利用者に応じた個別支援プログラム」においては

個別支援計画について、他の施設などの利用を検討し、地域生活への移行に向けて、地域の関係機関と連携し、グループホームの見学、体験利用を積極的に進めました。「日常生活支援サービス」においては、余暇・レクリエーションについて、自治会運営委員会、総会などを

通じて利用者の意向を確認し、主催行事には補助的に支援をしました。また、地域の社会資源（いきいきサロン）の活用をしました。飲酒、喫煙について、健康上の影響等の情報を全体集会時に提供しました。今後も利用者の様々なニーズに対応し、サービスの評価の向上へ繋げていきたいと思

項目	着眼点数	達成点数		達成度 (%)	
		22年度	23年度	22年度	23年度
1. 人権への配慮	61	54	55	88.5	90.2
2. 利用者に応じた個別支援プログラム	55	26	30	47.2	54.5
3. 日常生活支援サービス	106	87	94	82.0	88.7
4. 生活環境の整備	19	19	19	100.0	100.0
5. 地域との連携	34	26	26	76.5	76.5
6. 役員（管理者）及び職員の研修・資質向上	23	23	23	100.0	100.0
7. 危機管理および緊急時への対応	24	23	23	95.8	95.8
合計	322	258	270	80.1	83.9



平成 23 年度 社会福祉法人久比岐福祉会 決算報告書

平成 23 年 4 月 1 日 ~ 平成 24 年 3 月 31 日

【資金収支計算書】

(単位:)

	勘定科目	久比岐福祉会	
		久比岐福祉会	内 名立園経理区分
経常活動による収支	措置費収入	305,315,669	305,315,669
	経常経費補助金収入	375,015	375,015
	寄付金収入	759,324	48,324
	雑収入	3,483,833	3,439,563
	受取利息配当金収入	13,650	6,000
	経理区分間繰入金収入	6,000	0
	経常収入計 (1)	309,953,491	309,184,571
	人件費支出	192,662,227	192,468,895
	事務費支出	19,705,708	19,088,333
	事業費支出	70,573,289	70,573,289
経理区分間繰入金支出	6,000	6,000	
経常支出計 (2)	282,947,224	282,136,517	
経常活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	27,006,267	27,048,054	
施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	25,734,000	25,734,000
	施設整備等寄付金収入	120,000	120,000
	施設整備等収入計 (4)	25,854,000	25,854,000
	固定資産取得支出	38,549,700	38,549,700
	施設整備等支出計 (5)	38,549,700	38,549,700
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	12,695,700	12,695,700	
財務活動による収支	積立預金取崩収入	0	0
	財務収入計 (7)	0	0
	積立預金積立支出	10,000,000	10,000,000
	財務支出計 (8)	10,000,000	10,000,000
	財務活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	10,000,000	10,000,000
予備費 (10)	0	0	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	4,310,567	4,352,354	
前期末支払資金残高 (12)	56,990,351	51,795,570	
当期末支払資金残高 (11)+(12)	61,300,918	56,147,924	

【事業活動収支計算書】

(単位:円)

	勘定科目	久比岐福祉会	
		久比岐福祉会	内 名立園経理区分
事業活動収支の部	措置費収入	305,315,669	305,315,669
	経常経費補助金収入	375,015	375,015
	寄付金収入	759,324	48,324
	雑収入	3,483,833	3,439,563
	国庫補助金等特別積立金取崩額	10,783,262	10,783,262
	事業活動収入計 (1)	320,717,103	319,961,833
	人件費支出	192,662,227	192,468,895
	事務費支出	19,705,708	19,088,333
	事業費支出	70,573,289	70,573,289
	減価償却費	23,218,543	23,218,543
事業活動支出計 (2)	306,159,767	305,349,060	
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	14,557,336	14,612,773	
事業活動外収支の部	受取利息配当金収入	13,650	6,000
	経理区分間繰入金収入	6,000	0
	事業活動外収入計 (4)	19,650	6,000
	経理区分間繰入金支出	6,000	6,000
	事業活動外支出計 (5)	6,000	6,000
事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	13,650	0	
経常収支差額 (7)=(3)+(6)	14,570,986	14,612,773	
特別収支の部	施設整備等補助金収入	25,734,000	25,734,000
	施設整備等寄付金収入	120,000	120,000
	特別収入計 (8)	25,854,000	25,854,000
	固定資産売却損・処分損	0	0
	国庫補助金等特別積立金積立額	25,734,000	25,734,000
特別支出計 (9)	25,734,000	25,734,000	
特別収支差額(10)=(8)-(9)	120,000	120,000	
当期活動収支差額合計(11)=(7)+(10)	14,690,986	14,732,773	
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額 (12)	173,278,933	168,074,152
	当期末繰越活動収支差額 (13)=(11)+(12)	187,969,919	182,806,925
	基本金取崩額 (14)	0	0
	基本金組入額 (15)	0	0
	その他の積立金取崩額(16)	0	0
その他の積立金積立額(17)	10,000,000	10,000,000	
次期繰越活動収支差額 (18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)	177,969,919	172,806,925	

【貸借対照表】

平成 24 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

資産の部			負債の部		
	久比岐福祉会	内 名立園経理区分		久比岐福祉会	内 名立園経理区分
流動資産	71,715,198	66,562,204	流動負債	10,414,280	10,414,280
現金	50,000	50,000	未払金	8,978,995	8,978,995
預金	44,944,268	39,791,274	預り金	1,435,285	1,435,285
未収金	26,208,002	26,208,002			
前払金	512,928	512,928			
固定資産	433,562,707	409,552,707	固定負債	0	0
基本財産	299,775,826	298,775,826			
建物	262,122,826	262,122,826	負債の部 合計	10,414,280	10,414,280
土地	36,653,000	36,653,000			
基本財産特定預金	1,000,000	0	純資産の部		
その他の固定資産	133,786,881	110,776,881	基本金	64,043,442	63,043,442
建物	430,001	430,001	国庫補助金等特別積立金	135,526,264	135,526,264
構築物	4,691,511	4,691,511	その他の積立金	117,324,000	94,324,000
車両運搬具	490,069	490,069	人件費積立金	50,000,000	50,000,000
器具及び備品	10,570,980	10,570,980	施設整備等積立金	44,324,000	44,324,000
権利	218,400	218,400	その他の積立金	23,000,000	0
投資有価証券	10,000	0	次期繰越活動収支差額	177,969,919	172,806,925
人件費積立預金	50,000,000	50,000,000	次期繰越活動収支差額 (うち当期活動収支差額)	177,969,919 14,690,986	172,806,925 14,732,773
施設整備等積立預金	44,324,000	44,324,000			
その他の積立預金	23,000,000	0	純資産の部 合計	494,863,625	465,700,631
その他の固定資産	51,920	51,920	負債及び純資産の部 合計	505,277,905	476,114,911
資産の部 合計	505,277,905	476,114,911			

【 財 産 目 録 】

平成 2 4 年 3 月 3 1 日現在

(単位 : 円)

資 産 ・ 負 債 の 内 訳			
1. 資産の部			
1. 流動資産		(小計)	(合計)
現金預金	名立園経理区分		50,000
預金	法人本部経理区分	上越信金名立支店	44,944,268
	名立園経理区分	上越信金名立支店	39,791,274
未収金	23 年度結核予防費補助金	新潟県	26,208,002
	耐震補強工事補助金	新潟県	13,916
	3 月分事務費 (一時入所) 2 名分	上越福祉	25,734,000
	利用者負担金	利用者 A	256,200
	利用者負担金	利用者 B	111,135
	利用者負担金	利用者 C	55,209
前払金	火災保険料 23 年度分 (あいおいニッセイ同和損保)		37,542
流動資産計			512,928
2. 固定資産			
基本財産			
建物	名立園経理区分		262,122,826
	名立区赤野俣 926 番地 2	3,477.52 m ²	261,932,741
	燃料庫 (フォトン)	17.25 m ²	1
	ボイラ室	15.96 m ²	1
	倉庫	145.37 m ²	1
	作業所	145.73 m ²	1
	車庫	139.11 m ²	190,081
土地	名立区赤野俣 926 番地 2	8,073.82 m ²	36,653,000
基本財産特定預金	法人本部経理区分	上越信金名立支店	1,000,000
基本財産計			299,775,826
その他の固定資産			
建物	名立園経理区分	空き缶小屋・ビニールハウス・カーポート	430,001
構築物	"	上下水道管敷設・外灯 他	4,691,511
車両運搬具	"	マイワパス・ワゴン車 計 4 台	490,069
器具及び備品	"	取得価格 10 万円以上物品	10,570,980
権利	"	電話加入権	218,400
投資有価証券	法人本部経理区分	上越信金出資証券	10,000
人件費積立預金	名立園経理区分	上越信金名立支店	50,000,000
		名立郵便局	30,000,000
		えちご上越農協名立支店	10,000,000
		上越信金名立支店	10,000,000
施設整備等積立預金	"		44,324,000
その他の積立預金	法人本部経理区分		23,000,000
その他の固定資産	名立園経理区分	自動車 4 台別件料	51,920
その他の固定資産計			133,786,881
固定資産計			433,562,707
資 産 合 計			505,277,905
1. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	名立園経理区分	3 月未払金・社会保険施設負担分	8,978,995
預り金	"	退職者社会保険料・社会保険料職員負担分	1,435,285
流動負債計			10,414,280
2. 固定負債			0
固定負債計			0
負債合計			10,414,280
差引純資産			494,863,625

平成二十三年環境整備事業

平成二十三年年度特筆すべきは、長年の懸案事項であった耐震補強工事が昨年六月に新潟県より国・県補助事業として採択されました。その後、公募型指名競争入札を経て業者を決定し、約二ヶ月半に及ぶ工事を実施し、十二月二十日に無事計画した工事をすべて完了しました。利用者の安心・安全は勿論のこと、地域の緊急避難場所としての役目も果たせそうです。

その他、主な工事としては正面玄関脇にカーポートを設置しました。耐震補強工事により補強ブレースを



新設したカーポート

増設した関連で、今まで使用していた屋根付きの駐車スペースに車を止める事ができなくなっていました。そのため、利用者が荒天時にも安全に乗降できるように、このカーポートを設置しました。



節電タイプに更新しました

また体育館屋根改修工事は、建築後三十二年経過し雨漏りもあり改修しました。さらに、南棟二階介護員室及び調理休憩室のエアコンも更新整備しました。

ボランティアありがとうございました

音色の贈物

六月四日、「ドレミ

フレンド」の皆様による楽器演奏と歌の披露がありました。

普段あまり目にする事が無い、オカリナや大正琴のきれいな音色に利用者の皆さんは聴き入っていました。また、六月十日に「なかよし会」

の皆様による三味線演奏と歌の披露もあり、三味線の力強いパチさばきと独特の



ドレミフレンドの皆様(上)となかよし会の皆様(下)

いつもありがとうございます

毎週金曜日に来て下さる笠原良子さん。主に入浴の時に出る大量の洗濯物を手際よく処理して下さいます。洗濯・干す(または乾燥する)・畳むという一連の洗濯業務を手伝っていただき、大変助かっております。

また、七月から来て下さっている山本英輔さんは、利用者とのふれあいを大切



車椅子の点検・整備をする山本さん

にしながら、施設内の掃除や車椅子の掃除、メンテナンスを丁寧に細部までしてくれています。

音色は、単調になりがちな日々心地良い風を届けてくれたようでした。ありがとうございました。

善意に感謝いたします

平成 24 年 2 月 ~ 7 月

順不同

寄付金

- 橋本南夫様
- 名立区山海クラブ様
- 村松翁様
- 渡辺望様

寄付物品

- カラオケ教室
- ゆうゆう倶楽部様
- 下名立老人相生会様
- 井上商会様
- 木村洋一様
- 山崎二美子様
- 笠原賢一様
- 名立商工会様
- たちばな保育園様
- 新保栄子様
- 池亀久兵衛様
- 高士地区婦人会様

ボランティア

- 二月二六日(唄披露)カラオケ教室
- ゆうゆう倶楽部様
- 二月二八日(清掃奉仕活動)名立中学校三学年様

五月一八日

(洗濯補助・利用者介助)

竹内楓様 一名

六月四日

(オカリナ・ウクレレ・大正琴の演奏)

ドレミフレンド様 七名

六月六日(網戸入れ)

上越市手をつなぐ育成会様

一 二名

六月八日(チェンバロ演奏)

福田直樹様 一名

六月一四日(草刈り)

松代地区民生委員児童委員協議会様 一 五名

六月一九日(三味線)

なかよし会様 八名

介護員業務補助

(不定期)

山本英輔様

手芸クラブ指導

仲田栄子様 (毎月一回)

渡辺忠子様 原田綾子様

能生地区民生委員協議会

女性部様

名立区商工会女性部様

生花クラブ指導

岡田洋子様 (毎月一回)

渡辺忠子様 原田綾子様

洗濯業務補助

笠原良子様 (毎週金曜日午後)

あとがき

今回の広報誌は五十号目となります。第一号からの広報誌を振り返ってみると、様々な活動や出来事があり、改めて歴史を感じました。今後もより良い名立園になるよう努力していきたいと思っております。温かいご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。最後にご多忙中のところ、原稿をお寄せいただきました皆様にご感謝申し上げます。



創刊号は昭和56年1月に発刊されました